



## ☆☆☆☆☆ 市指導主事学校訪問 ☆☆☆☆☆



6月27日(木)、市の指導主事3名の先生方が来られ、本校の子どもたちの様子を参観されました。本校では今年度、「学ぶ楽しさを味わい、主体的に学ぶ子どもの育成」をテーマとした指導法の研究に、特に道徳の授業に力を入れて取り組めます。

この日は、2年担任の茨山教諭が「黄色いベンチ」という資料を使って道徳の全体参観授業を行いました。この資料には、主人公のたかし

とてつおが公園で他の利用者のことを考えずに遊びに夢中になり、迷惑をかけてしまう様子が描かれています。主人公の行動や気持ちに共感させながら、公共の物を大切に使うことやきまりを守ることの大切さに気付かせるのに適した資料です。まず、子どもたちの生活に身近な本棚やトイレの写真を見せ、みんなが使うものはどのように使えばよいかという問題意識をもたせることから始まりました。ペープサートを使って内容を分かりやすくしたり、役割演技を取り入れて見ている子たちも考えを深めやすかったりといった工夫が教師に準備されており、それらが子どもたちの意欲を高め、ねらいに迫るためにとっても効果的でした。また、教師が子どもたちの考えを揺さぶる問いかけによって、より自分のこととして考えるようになる場面も見られました。どの子もよく考え、よく発表した2年生。この授業を通して、約束やきまりを守り、みんなが使うものを大切にしようという気持ちは強くなったはず。これからの行動にもつながることを期待したいです。

他の担任も授業を公開しましたが、どのクラスの子どもたちからも授業に対する意欲や意気込みが感じられました。私たち教員が授業力を高めることで、子どもたちに確かな力をしっかり身につけていきたいです。

※ペープサートとは「紙人形劇」のことで、それを表す英語の「paper puppet theater」(ペーパー・パペット・シアター)を略した造語です。

## ◇◇◇ 不審者侵入に対する避難訓練 ◇◇◇

6月28日(金)、越前警察署の協力を得て、不審者侵入に対する避難訓練を実施しました。訓練の目的は、学校に不審者が侵入したときに、子どもたちが落ち着いて指示を聞き、速やかに安全に行動できるようにするためです。不審者侵入時の職員の動きについての訓練も並行して行いました。その後、多目的ホールで警察の方から訓練のご高評をいただき、今後の生活における心構えをもつことができました。



昨今の事件から、万が一の時の自分の命の守り方として、「大声を出して助けを呼んだり、危険を感じたら自分の判断ですぐに逃げたりすること」の大事さを警察の方との話の中で再確認しました。ここ白山であっても犯罪は絶対に起きないとは言いきれません。ご家庭でもお子様に自分の身をどうやって守れるかをこの機会に意識させてくださいますようお願いいたします。